

## 第4回武蔵村山市立地適正化計画策定委員会（令和6年7月19日）

## 意見対応表

No.	項目	意見	対応
1	都市機能誘導	自習室やシェアオフィスは図書館とは相性が良くないため、誘導施設としての棲み分けを工夫してほしい。	自習室は青少年交流施設内の機能として、シェアオフィス（コワーキングスペース）は駅周辺に必要な機能として位置付けた。
2		交通結節機能、モビリティハブ、モビリティステーションのような考え方はなくて良いか。武蔵村山らしい駅周辺の交通結節点としての考え方を示せると良い。	モビリティハブを駅周辺に必要な機能として位置付けた。
3		宿泊施設に対する考え方を示すと良い。	駅周辺（No.3 駅）に必要な機能として、宿泊・コンベンション機能を位置付けた。
4	防災指針	内水対策を具体的な施策の中で示すべき。	公共下水道事業等の推進として以下を示した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水の流出抑制型下水道の整備推進</li> <li>・近隣市町と連携した公共下水道（雨水）の整備</li> <li>・公共・公益施設、大規模民間施設及び一般住宅に対する雨水流出抑制施設の設置促進</li> </ul>
5		防災まちづくりの将来像の「生活環境の迅速な回復が図られ」の文言を削除するとのことだが、復旧復興について施策がないから削除するのではなく、施策を足すべきではないか。	「防災・減災対策が充実」は発災前の対応であり、「生活環境の迅速な回復」は発災後の対応で、2つの時間軸が1つの将来像に混在してしまうと分かりづらいという議論があった。また、復旧、復興といった文言は震災にフォーカスしすぎるという見方もあるため、本計画の趣旨を踏まえて削除することとした。
6		地震に伴う火災リスクの低減に関する施策はないのか。	建築物等の耐震不燃化の促進、延焼遮断帯及び一時避難所の確保を施策に追加した。